令和四年度

国語採点基準

大問	解答	配点	備考
1	(1) 音や動きがあること (2) 資料を効果的に提示すること。 (3) 3 (4) (例) 学級旗は団結のしるし →学級旗のみ×	4 4 4 4 16	1 (1) (2) (4) かな書きのものも、誤字、あて字があるものも認める。 (2) 同じ内容であればよい。 (4) 上記の例以外でも、「学級旗」を使った見出しとして適切な内容であればよい。
2	(1) アふくつ イげきれい ウはくせい エと オかえり カ素質 キ忠誠 クコ補修 ケ招 除 (2) アイ 1 4	(各1) 5 (各1) 5 2 2 14	4 (2) 上記の例以外でも、条件を満たし、同じ内容であればよい。
3	(1) 有「適」呉 (2) 2 (3) 1	4 4 4 12	5 (4) 上記の例以外でも、条件を満たし、同じ内容であればよい。 ★①、②、③それぞれ2点で計6点
4	(1) 4 (2) (例) 内部から外に向かって開放される (十五字) (3) 地面と並行する横方向 (4) 2 (5) (例) 生の基盤を稲作に置く日本人にとって、身体の安定を保ち、同じ動作のリズムを共有することが必要であった (四十九字) 「に役立つ」OK	6 4 4 4 4 22	6 ※ 次の二つの条件を満たしているものを正答とする。 ① 第一段落に、【資料】をもとに自分の意見を書いている。 ② 第二段落に、①の理由を書いている。 ※ 次の点にあてはまる場合は点数を減ずる。 ・字数が百五十字未満、または二百字を超えた場合は1点を減ずる。 ・二段落構成でない場合は1点を減ずる。
5	(1) 2 (2) 3 (3) すべらない入れ物に移して →なければ-1 (4) ア (例) アゲハの羽が破れていること。 (十四字) イ (例) 自分のせい →ぼく-1 ・落ちたり-1 ・死んだと思ったのに-1	4 6 2 2 4 4 4 26	・表現に関する誤り（文法、文体、語句の意味、用法、主述の照応等）が三か所あるものは1点、四か所以上あるものは2点を減ずる。 ・表記に関する誤り（文字、かなづかい、句読点、符号の使い方等）についても、右の基準を適用する。
6	（省略）	10	
		100	

備考★参照
(5) (例) ① 動かなくなったり傷ついたりしたことがあっても、③外灯の下で光りながら舞い続ける (三十八字)
②羽が破れたりOK
施Ⓟ OK
「続ける」ないと-1